

耳の日コンサート

美術館に響き渡る透き通った音色

3月3日、チェリストの加治誠子さんが田川市美術館で19回目となる耳の日コンサートを開催し、チェロやヴァイオリン、ピアノが奏でるクラシック曲などの美しい音色に、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

また、4月15日には、加治さんが市役所を訪れ、コンサートの収益金103,820円を市に寄付しました。この寄付金は、図書館に設立されている耳の日文庫の充実に当てられ、目の不自由な人や高齢者のみなさん大変好評を博しています。

加治さんは「来年は節目となる20回目の開催。今まで以上に内容をパワーアップさせながら自然体で頑張ります」と抱負を語りました。



▲演奏する右から加治さん、長島洋太さん、アレックス・クヌさん



▲熱心な様子で説明に耳を傾ける中央中学校の生徒たち

家庭・地域に開かれた教育を目指して

小中学校で土曜授業が開始

4月20日、市内の小中学校で土曜授業が開始され、中央中学校では1・2年生が石炭・歴史博物館、3年生が市美術館を訪れ、卒業生や保護者などと一緒に、石炭の歴史を学んだり、展示された作品を模写したりしました。

土曜授業とは、家庭や地域に開かれた教育を目指すことなどを目的に平成25年度から始まった取り組みのことで、年間5回、土曜日の午前中に市内すべての小中学校で行われる予定です。

浦野来香さん（中央中2年）は「土曜日に授業と聞いて最初は嫌だなと思ったけど、学校外などでいろいろ体験できる授業だったら楽しいと思います」と笑顔で話しました。

シリーズ

田川市立病院だより



産婦人科部長
藤田 拓司

診療科の紹介－産婦人科

田川市立病院産婦人科は平成22年度3人体制、平成23年度4人体制、平成24年度5人体制となり、診療体制の充実を図っています。当院医師の紹介ですが、本年度からは腹腔鏡下手術を得意とする宮崎順秀医師が加わり、産科を得意とする椎名隆次医師、婦人科悪性腫瘍を専門にするわたし藤田と、若手ではありますが積極的に診療に取り組む友延寛医師、中野嵩大医師の5人でバランスのとれた診療体制が確立しています。

外来体制をさらに充実させ、月曜日と金曜日に九州大学からの応援を得て、4人外来診療体制とし、産科再来1室、再来予約1室、新患・予約外再来2室とし、待ち時間の短縮を心がけ

ています。

産婦人科は、新たな生命の誕生である出産を担う産科と、女性特有の疾患で悩んでいる人たちの診療を担当する婦人科がひとつになった科です。一見すれば出産と病気という、関連がないものがひとつの科になった印象を受けますが、女性をトータルケアする科と考えていただければ納得していただけたと思います。

したがって、取り扱う疾患は幅広く、妊娠出産、生理痛、月経異常、癌検診で異常を認めた場合、卵巣腫瘍、子宮筋腫などの良性腫瘍、卵巣癌、子宮癌などの悪性腫瘍等で治療法も病気に合わせて適切に選択しています。悩みことなどがありませんでしたら、是非受診してください。

●くわしい情報はHPで検索

田川市立病院

検索

クリック